

●玉水浜への通路の除草作業完成 5月24日(土)

森島、播川、太田の3人で木津川の玉水浜の草刈りをしました。駐車場までの道を確保できました。池の方へは、駐車場から30～40mのところまで水があったので、そこから先の草刈りはできていません。水が増えていて、2つの将棋頭も水没していました。写真を添付します。作業中に冷たい雨が木津川川ガキ団の田中さんから早速お礼の便りが届きました。気温差が大きく昼間は真夏日？と感じるくらいに暑い日があったりと体調を崩しやすい時期です。参加してくれた皆さまが風邪などをひかれないことを祈念しております。



●木津川川ガキ団の田中さんから 早速お礼の便りが届きました。

お世話になります。草刈り誠にありがとうございました！次の日曜に活動で入らせていただきます。6月1日には公私に渡り竹門康弘先生にお世話になって玉水浜で魚調べをおこなわれることになっているそうです。写真でもわかるように通路は雑草が大人の背丈を超える高さにまで成長していて、子ども達がとても入れる状況ではありませんので、里山の会の皆さんが写真のように草刈りを行って通路を確保していただきました。これで玉水浜には自動車でも歩いてでも行けるようになりました。湿度が高く蒸し暑い中、草ぼうぼうの中での草刈りは大変でしたが自動走行の除草機ハンマーモアの威力は素晴らしく綺麗に通路が出来上がりました。頑張っていた皆さんありがとうございました。6月は植物にとって最も適した成長期になりあっという間に復元されてしまいますがよろしく願いいたします。みなさんのご協力もお願いします。



●竹エンピツ制作に24日の午後からは雨が降ると予報されていたとおりの天候になりました。

木下さんは時間が出来たのでと事務所に来られて午後5時まで作業をして竹エンピツをひとりで100本を完成させていただきました。手持ち在庫が出来ていますので各方面で啓発宣伝をお願いいたします。

●京都府の前自然環境課の課長であった後藤さんが来所されました。

現在はデジタル課長として先頭に立っておられるとのことでした。環境課長の時代に木津川で天然記念物の「イタセンパラの復元を目指す」取り組みで京都水族館との連携を深めて行ける施策を講じていただき、また大阪府の多様物センターを訪ねて課題の整理を行っていただき暗中模索の活動に筋道を明らかにしていただきました。生成AIの使い方を指導していただきました。私のわかる範囲で木曜日のパソコン教室で説明させていただきます。誰でもどなたでも簡単に使う事が出来る非常に便利なものなのです。

●5月24日(土) 10:00~11:30 玉ねぎの収穫をしました。

参加者：伊藤、太田、大村、金田、坂田、寺村（親子）、播川、森島

昨日までと違って気温の低い寒い午前中でした。雨が降り出しそうでしたが、玉ねぎの収穫他を9:00~12:00頃まで9人で実施しました。立派な玉ねぎが収穫できることを期待して昨年11月16日(土)に苗300本を植付けました。冬場は雨が少なく、積雪は若干でしたが数年ぶりに京田辺の町が雪化粧になるほど気温が低い日が続

き、作物にとっては厳しい環境下でしたが会員の思いが届いたのか昨年よりも大きく育ってくれました。収穫できた数は265個でした。収穫後の玉ねぎは、会員が協力金を支払い引き取ってくれました。残り約70個は5玉を一括りにして保管してあります。多くではありませんが、会員には協力金をお支払いいただくことでお譲りすることが可能です。お入り用であれば、大村さん・森島さん・伊藤さんへ連絡をお願いいたします。農園部会として振り返りをしないといけませんが、ソフトボールぐらいの大きさの玉ねぎを食料品店で見かけることがあります。それに比べるとやや小ぶりだったように感じます。

夏野菜の種まきや苗の植付をたくさん行ったので、順調に成長すれば成果物が連日採取されて、手に余るだろうと思われます。できればその備えとして無人販売店の実施を考えており、実施場所の目印となる「のぼり」のデザインを応募いたしましたところ、3つの提案が寄せられました。それぞれに会員の河貝さんがその道のベテランでしたのでより良いものに手を加えて頂いて最終決定いたします。河貝様多忙な中ご提案ありがとうございました。



●5月24日に収穫した玉ねぎを副理事長森島保様から京田辺市社会福祉協議会へ20個を届けました。

協議会の藤林さんが受け取ってくださいました。里山農園では夏野菜を先日たくさん植付したのは、収穫できる作物がこれまで以上に収穫が見込まれますし、協力金販売も進まない場合子ども食堂への寄贈や独居老人への弁当配布事業にご利用いただけたらとお聞きしましたので、収穫できた「玉葱」をまず小手調べ的に寄贈させてもらいました。5月24日の玉ねぎ収穫にご参加いただいた皆様全員から賛同を得ての取組になりました。厳しい天候の下で生育にお世話をいただいた多くの方々に感謝いたします。28日現在手元にある物は70個程度となっていますので、希望される場合は農園担当の副理事長・森島保さんまで電話をお願いします。

●ホタルの夕べは例年通り開催します。 6月14日(土) 16:00開会 20:30現地解散 場所:里山農園

人の手が加わっていない自然のホタルの出現を体験すると同時に里山農園の自然の豊かさを体験する場として昆虫観察を行い、夕暮れ時には音楽会を楽しみ、蛍の生態を学習します。木下勉キジムーバンドが出演予定です。

参加無料 募集人数50人で打ち切り 各自夕食弁当持参 小学生・幼児=保護者同伴(必須)

昆虫観察:講師:桜谷保之先生 京都府地域交響プロジェクト交付金事業です。